

【PI 実施方針】

(別添様式 3)

研究機関名：大阪大学

競争的研究費の直接経費からの研究代表者(PI)の人件費支出に係る
活用実績報告書（令和 5 年度）

1. 実施状況

①事業名	②直接経費 から人件費を 支出した、 所属 PI の 人数（人）	③所属する PI に ついて、直接経費 から支出した 人件費の総額（円）	④所属する PI に ついて、直接経費 から人件費を支出 したことにより 確保した財源の 総額（円）
【文部科学省】			
原子力システム研究開発事業	1	800,000	800,000
データ創出・活用型マテリアル 研究開発プロジェクト事業	1	2,000,000	2,000,000
革新的パワーエレクトロニクス創出 基盤技術研究開発事業	1	2,000,000	2,000,000
【科学技術振興機構】			
戦略的創造研究推進事業			
さきがけ	31	27,580,000	27,580,000
CREST	9	17,500,000	17,500,000
ACT-X	1	150,000	150,000
創発的研究支援事業	18	10,684,120	10,684,120
ムーンショット型研究開発事業	17	25,164,000	25,164,000
国家課題対応型研究開発推進事業			
光・量子飛躍フラッグシップ プログラム（Q-LEAP）	2	3,600,000	3,600,000
研究成果展開事業			
研究成果最適展開支援プログラム （A-STEP）	3	1,740,000	1,740,000
共創の場形成支援プログラム	2	4,000,000	4,000,000
革新的 GX 技術創出事業（GteX）	1	400,000	400,000
社会技術研究開発事業	1	660,000	660,000
先端国際共同研究推進事業 （ASPIRE）	2	840,000	840,000
国際科学技術共同研究推進事業			
地球規模課題対応国際科学技術協 力プログラム（SATREPS）	1	500,000	500,000
戦略的国際共同研究プログラム （SICORP）	1	1,172,000	1,172,000

【PI 実施方針】
(別添様式 3)

①事業名	②直接経費 から人件費を 支出した、 所属 PI の 人数 (人)	③所属する PI に ついて、直接経費 から支出した 人件費の総額 (円)	④所属する PI に ついて、直接経費 から人件費を支出 したことにより 確保した財源の 総額 (円)
【日本医療研究開発機構】			
戦略的創造研究推進事業			
革新的先端研究開発支援事業	6	8,900,000	8,900,000
免疫アレルギー疾患実用化 研究事業	3	2,714,000	2,714,000
国家課題対応型研究開発推進事業			
脳とこころの研究推進プログラム (精神・神経疾患メカニズム解明 プロジェクト)	2	1,950,000	1,950,000
難治性疾患実用化研究事業	1	2,000,000	2,000,000
新興・再興感染症に対する革新的医 薬品等開発推進研究事業	1	2,000,000	2,000,000
ワクチン開発のための世界トップレ ベル研究開発拠点の形成事業	4	6,220,000	6,220,000
橋渡し研究プログラム	1	1,280,000	1,280,000
再生医療等実用化研究事業	1	900,000	900,000
次世代がん医療加速化研究事業	1	2,000,000	2,000,000
【環境再生保全機構】			
環境研究総合推進費 (革新型 研究開発 (若手枠))	1	414,000	414,000
【新エネルギー・産業技術総合開発機構】			
グリーンイノベーション基金 事業	1	1,630,000	1,630,000
官民による若手研究者発掘支援事業	3	2,842,000	2,842,000
クリーンエネルギー分野における革 新的技術の国際共同研究開発事業	1	510,000	510,000
未踏チャレンジ 2050	1	500,000	500,000
合計	118	130,650,120	130,650,120

2. 確保した財源の使途、具体的な活用内容、効果等

- ・競争的研究費の直接経費から人件費を支出した研究者に対して、支出した額の範囲内で給与水準向上の処遇改善を行い、パフォーマンスの向上を図った。
- ・論文執筆スキルの獲得や高精度な英語翻訳にかかる支援を行い、研究成果発表における正確さを高めることができた。
- ・卓越した若手研究者に対し、研究環境整備にかかる支援や異分野融合研究のための研究費助成を行い、研究の一層の推進を図った。
- ・日本学術振興会の特別研究員に対して、処遇改善や研究費助成等を行い、卓越した若手研究者の安定的な雇用を実現し、パフォーマンスの向上を図った。

3. 策定した活用方針や活用実績を公表している研究機関のホームページ等の URL を記載してください。なお、各研究機関における研究力向上に向けた実施事例については、好事例として政府のホームページでも公表させていただく場合があります。

<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/research/PIjinkenhi>